

個人投資家向け会社説明会

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

2017年2月

宇部興産株式会社

I 宇部興産の概要

II 新中期経営計画の概要

III 株主還元の考え方

I

宇部興産の概要



- ◆社名 宇部興産株式会社
- ◆創業 1897（明治30）年6月
- ◆設立 1942（昭和17）年3月
- ◆代表者 山本 謙
- ◆本社 （東京） 東京都港区芝浦
（宇部） 山口県宇部市
- ◆資本金 584億円（2015年度末）
- ◆売上高 6,417億円（2015年度）
- ◆営業利益 414億円（2015年度）
- ◆連結子会社数 68社（2015年度末）
- ◆連結従業員数 10,764人（2015年度末）
- ◆上場取引所 東京・福岡（1949年上場）
- ◆単元株式数 1,000株



* 2015年度：2016年3月期

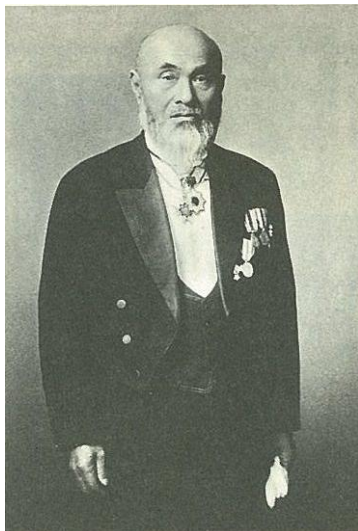
経営理念：

「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」

グループビジョン：

技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に無限の技術で世界と共生するUBEグループは、モノづくりを通して次代の価値を創造し続けます。



初代社長 渡辺 祐策

UBEグループは1897年、発祥の地、宇部で始めた石炭採掘事業以来、時代と産業構造の変化に対応し、常に自己変革を行ってきました。

その中で一貫して変わらなかった価値—それが「技術」と「革新」です。

独創的な技術力による「モノづくり」中心の事業活動と、時代を先取りし、変化を怖れないチャレンジ精神は、現在もUBEグループ共通の価値観として、脈々と受け継がれています。

<120年の歴史、詳しくはお手元の別紙にて>

事業概要（事業別売上高シェアと主要製品）

➤ 2015年度 連結売上高：6,417億円

化学

売上シェア42%
(2,667億円)



- 合成ゴム
- ナイロン樹脂／原料
- 工業薬品
- 電池材料
- ファインケミカル
- ポリイミド

医薬

売上シェア1%
(92億円)



- 自社医薬（創薬）
- 受託医薬
- ジェネリック

建設資材

売上シェア37%
(2,373億円)



- セメント／生コン
- 各種建材
- カルシア／マグネシア

機械

売上シェア11%
(734億円)



- 成形機（射出成形機／ダイカストマシンなど）
- 産業機械
- 橋梁

エネルギー・環境

売上シェア11%
(690億円)

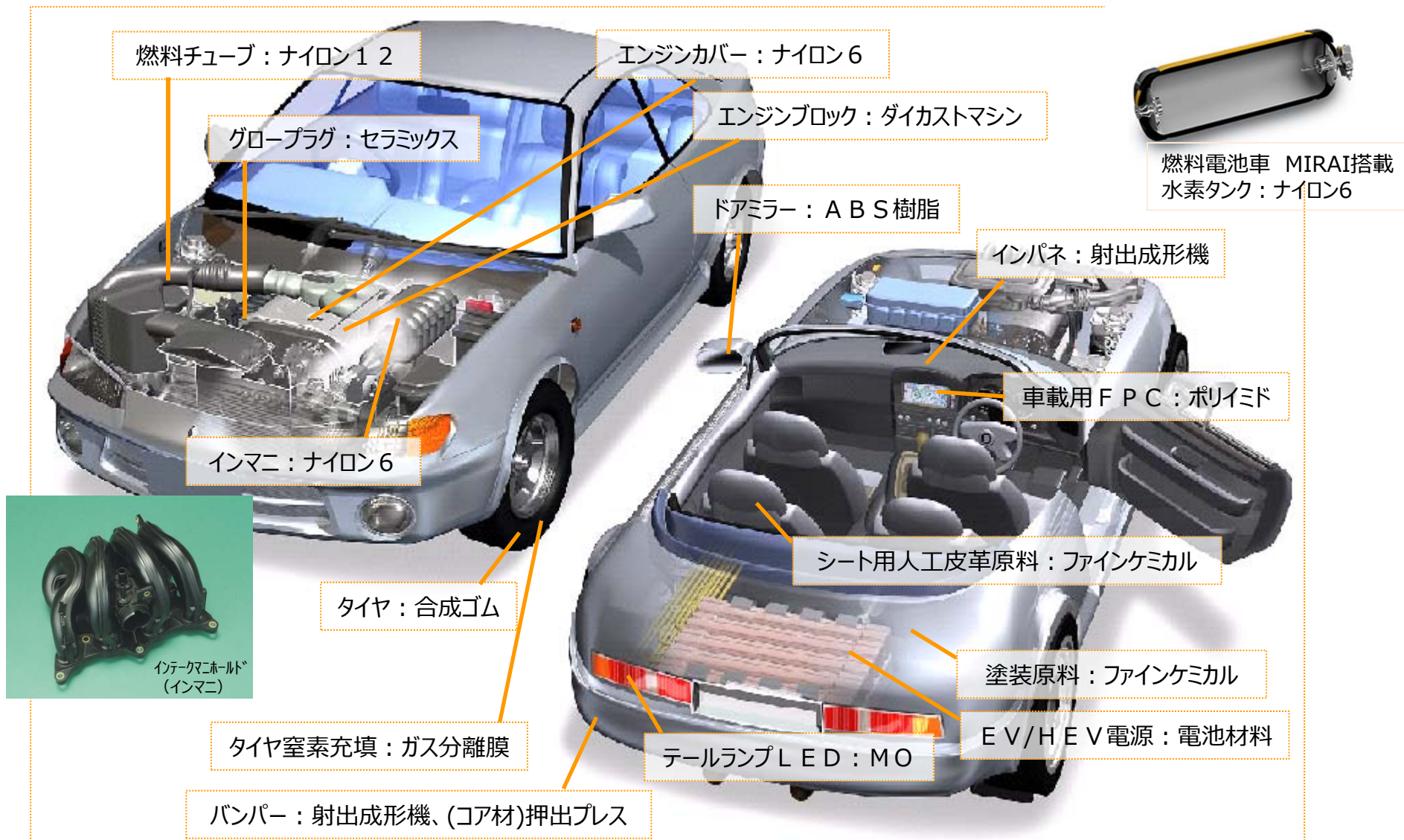


- 石炭貯蔵／販売
- 自家発電／売電

※

※：事業間の内部売上等があるため、シェアを合計しても100%にはなりません

身近なUBE製品① -自動車-



身近なUBE製品③ -医療・生活関連-



サッシ：押出プレス
 防水材
 バスマット
 入浴剤
 ヒノキバス
 ゴルフボール、靴底：合成ゴム
 保存容器：ポリエチレン
 食品ラップフィルム
 便座、洗面台：ABS樹脂
 食品パッケージフィルム：ナイロン6
 電動工具、電動自転車：電池材料
 壁材
 スポーツ靴：ポリアミドエラストマー
 化粧品香料：ヘリオフレッシュ®
 床材：SL材
 薬：医薬原体・中間体
 合皮ソファ：ファインケミカル
 カルブロック®
 タリオン®
 エフィント®
 カーペット：カプロラクタム

'16年度の業績予想（主要項目）



アンモニア工場の定期修理、セメント輸出市況の影響を織込み、減収減益。当期純利益は特損減少により増益。

(単位：億円)

項目	'15年度		'16年度		差異	
		3Q	2/1修正	3Q		3Q
売上高	6,417	4,823	6,100	4,399	△317	△424
営業利益	414	312	330	226	△84	△85
経常利益	396	301	310	226	△86	△75
親会社株主に帰属する 当期純利益	191	192	200	150	9	△41
項目	'15年度		'16年度		差異	
			2/1修正	3Q		3Q
有利子負債		2,166	2,080	2,109	△86	△56
自己資本		2,665	2,800	2,755	135	89
自己資本利益率 (ROE)		7.2%		7.3%		0.1%
D/E レシオ		0.81倍		0.74倍		△0.07倍

II

新中期経営計画の概要

Change & Challenge 2018

■ 経営理念

「共存同栄」

「有限の鉱業から無限の工業へ」

■ グループビジョン

「技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。」

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、モノづくりを通して、次代の価値を創造し続けます

■ 10年後のありたい姿

「顧客に価値を創出し続ける企業」

UBEグループは市場ニーズを先取りした製品・サービスを創り出し、拡大する事業領域で存在感を発揮できる企業として社会に貢献します

■ 持続的成長を可能にする経営基盤の強化

- 利益率を強く意識。コストダウンを徹底し、既存商品の収益力向上を図る
- 連結キャッシュフロー重視は堅持。成長のための投資を実施し、成果を確実に刈り取る
- 海外拠点の拡充と国内外グループ会社の連携深化。事業環境の変化にスピーディに対応
- 化学部門の復活と更なる成長（営業利益200億円レベルまで回復）

■ 資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献

- 温室効果ガスの削減  2021年度目標:15%削減
(2005年度比)
- 環境負荷低減に貢献する技術・製品の創出・拡大

■ 主要項目

営業利益

500億円

2015年度
実績

414億円

経常利益

490億円

396億円

■ 経営指標

売上高営業利益率
(ROS)

6.5%以上

6.5%

自己資本利益率
(ROE)

9.0%以上

7.2%

今後志向する事業ドメイン：「環境・エネルギー」、「モビリティ」、「建築・インフラ」、「ヘルスケア」

	化学・医薬	建設資材	機械	エネ・環
育成分野	新規電池材料、機能性無機材料（蛍光体・光学材料等） バイオマス燃料、航空分野（チラノ繊維） 環境資材（中性固化材・重金属不溶化材等）、バイオ関連材料			
積極拡大事業	ナイロン 合成ゴム セパレータ 高機能コーティング 医薬	ファインマテリアル （モスハイジ等）	機械サービス	
基盤事業	カプロラクタム・工業薬品 ファインケミカル セラミックス 分離膜	セメント・生コン カルシア・マグネシア リサイクル	成形機 産機 製鋼	石炭 電力
再生・再構築事業	ポリイミド 電解液			

- 育成分野 : 将来の収益源とすべく成長を促進する
- 積極拡大事業 : 市場の拡大が見込まれ、当社の得意分野で一段の成長を目指す
- 基盤事業 : 安定的な収益の維持・拡大を目指す
- 再生・再構築事業 : ビジネスモデルを見直し、事業の再構築を図る

■ 化学 完全復活と成長ドライバーの顕在化

・ナイロン・合成ゴム・セパレータ・高機能コーティングの4事業

➡「積極拡大事業」と位置づけ重点的に資源投入
他の各事業もキャッシュフロー経営を徹底

・コストダウンへの取り組み強化

➡「機能創出」と「コスト競争力強化」
バランスの取れた研究・開発・生産技術の
資源配分



高機能コーティング（スパン）

■ 医薬 収益構造の改革と成長軌道への回帰

- ・医薬パイプラインの充実
- ・モノ作りの収益力向上



自社開発品（3剤）

基盤事業の収益力維持と強化

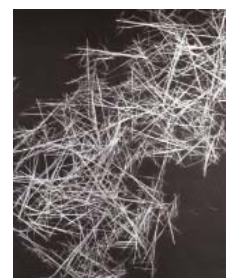
- セメント・生コン・リサイクル・石灰石・カルシア・マグネシア
 - ・コスト削減、生産合理化、廃棄物利用の拡大
- グループ会社との連携強化
 - グループ・シナジーの最大化
 - ・事業の再構築・統合（資源事業、建材事業）



シンガポールの出資先

成長戦略の拡充と伸長

- 事業エリア／事業領域を拡大
 - 海外事業・ファインマテリアル・環境資材
 - ・セメント安定輸出先の獲得
 - ・モスハイジ(自動車軽量化向け繊維)増強
 - ・中性固化材、重金属不溶化材の拡販



モスハイジ・使用例

■ 機械 海外拠点の拡充と連携深化

● 成形機・産機

・自動車やインフラ向け製品の競争力強化

→ 継続的なコストダウンと商品開発

→ 顧客ニーズを先取りした新機種を
グローバルに投入

● 機械サービス

・米州、アジアを中心にサービス事業を拡大

→ 顧客サポートとサービス提案活動を推進



射出成形機

■ エネルギー・環境 エネルギーコスト競争力の強化

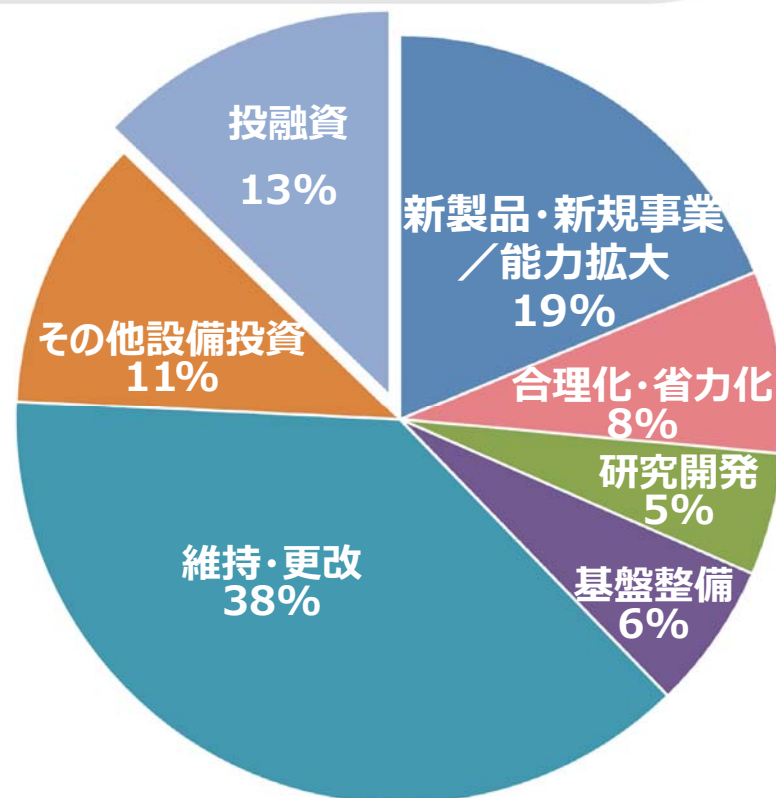
● 石炭 安価調達、港の整備、
貯炭場の能力増強

● 電力 老朽化した自家発電所の計画的・
効率的な更新



貯炭場

**3年間の設備投資・投融資
1,500億円**



- **成長投資と合理化投資と維持更改** → それぞれに経営資源を投入 (**1,300億円**)
- **投融資 (M&A含む)** → 既存事業強化や周辺事業領域拡大を加速 (**200億円**)

● **キャッシュフロー計画 (3年間)**

営業キャッシュフロー :	1,760億円
投資キャッシュフロー :	△1,500億円
フリーキャッシュフロー :	260億円

■ 主要項目

項目	単位	'15年度実績	'18年度計画
売上高	億円	6,417	7,500
営業利益	億円	414	500
経常利益	億円	396	490
親会社に帰属する当期純利益	億円	191	290
有利子負債	億円	2,166	2,000
自己資本	億円	2,665	3,200

■ 経営指標

項目	単位	'15年度実績	'18年度計画
D/Eレシオ	倍	0.81	0.65 以下
自己資本比率	%	39.2	40.0 以上
売上高営業利益率	%	6.5	6.5 以上
自己資本利益率	%	7.2	9.0 以上

化学部門が成長の原動力に、非化学部門は持続的収益基盤を維持・強化

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	'16年度	'18年度	差異	'16年度	'18年度	差異
化学	2,500	3,450	950	85	200	115
医薬	100	90	△10	20	5	△15
建設資材	2,300	2,500	200	160	200	40
機械	680	830	150	35	65	30
エネルギー・環境	600	730	130	30	35	5
その他	140	180	40	10	10	0
調整額※	△220	△280	△60	△10	△15	△5
計	6,100	7,500	1,400	330	500	170

※ セグメント間消去を含む。

18年度 前提条件（環境要因）：

為替：110円/ドル、ナフサ（CIF）540ドル/t、豪州炭（CIF）74.5ドル/t

Ⅲ

株主還元の考え方



株主還元 (配当方針)

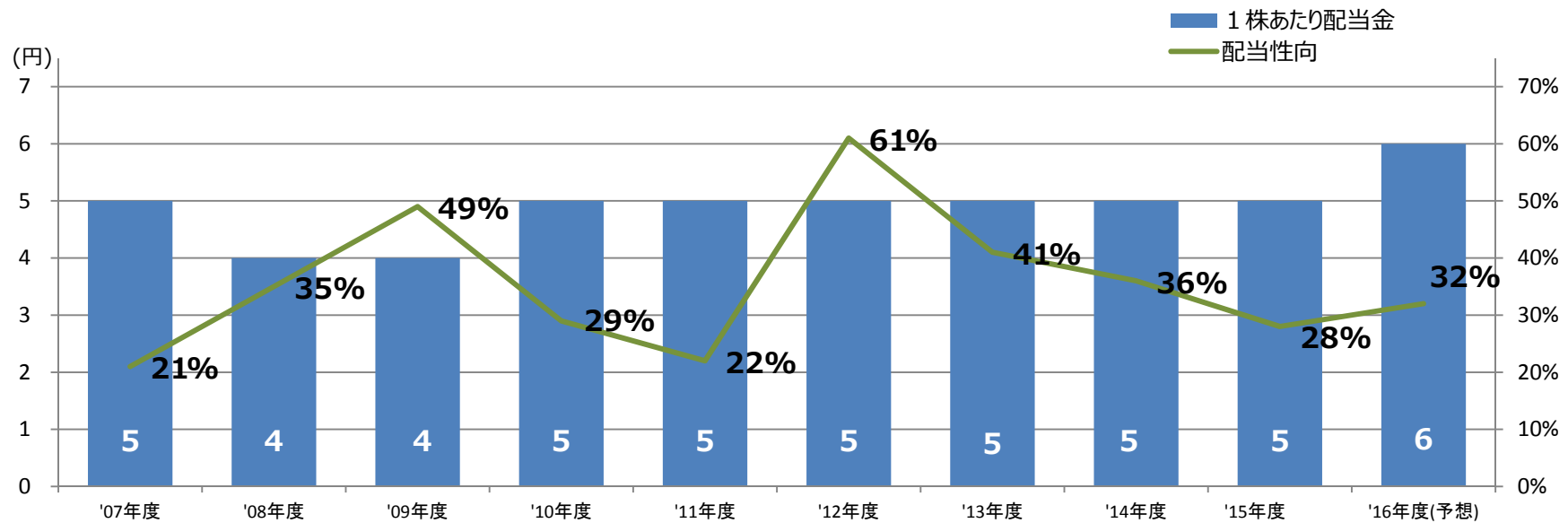


- 財務の健全性の維持・向上
- 将来の投資に備えた自己資本の充実
- 安定配当を意識



➔ 連結配当性向は原則として30%以上とする

配当金推移



[注：配当金 = 翌年度支払い]



歴史を未来にUBE120周年

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もあり得ますことをご了承願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく複製または転用などを行うことはできません。

(参考) 株価推移

